

前野のお頭^{かしらしんじ}神事

【日 程】2月11日(祝)

【場 所】上御糸地区前野 正念寺・猛祭神社

【参加者】ネギサン、子役、前野自治会

【願 い】悪霊退散、家内安全、健康、豊作



動画はこちら



さらに詳しい解説は
こちら

三重県内には数多くの獅子舞がありますが、「御頭神事」と呼ぶのは伊勢市周辺の宮川流域を中心とした地域だけです。獅子頭を「オカシラさん」と呼び神様として扱うことが特徴です。

前野のお頭神事の特徴は、神事を行う「ネギサン」を6軒(かつては7軒)の家が代々受け継いで守り伝えてきた点で、「天保七丙申(1836)正月十五日改」の銘がある神事に用いる道具箱には、「源七 / 仁兵衛 / 勘六 / 菊松 / 平治郎 / 増吉 / 松治郎」と7名のネギサンの名前が書かれ、続けて「子供貳人 / 都合メ九人衆」と書かれています。

神事はネギサンと子ども2人で構成され、オカシラ・アトマイ・天狗・^{はい} 拝・^{さし} 指図方・^{かた} 楽をそれぞれ担当します。指図方はお供えをした家の名を読みあげ竹の棒に挟み、掛け声を入れます。楽が打つのに合せて、オカシラが舞います。アトマイは頭から衣装を被り、オカシラに合わせて動きます。天狗は楽の調子に合わせて「サザラ」という竹でできたギロのような楽器を鳴らします。拝はお供えを指図方に渡します。拝は舞の間、お供えを渡す盆をかがげ頭を伏せます。お供えをした各家に対して同様の舞を行った後、前野神社へ移動し同様の舞を行います。舞が終わるとオカシラに御神酒などが供えられ、ネギサンの中で宿になっている家で食事をとります。



正念寺境内でのカゲマイ



オカシラ



天狗

*この内容は平成30年(2018)度の実施した映像記録事業での聞き取り調査や過去の調査資料をもとに作成しました。内容が変更になっている可能性もあります。

キーワード：伝統行事、風習、御頭神事、前野、無形民俗文化財